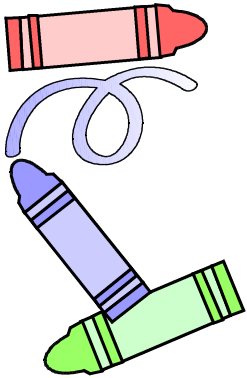


6年生 「図画工作」の学習

6年生では、こんな学習をします。

* 学習の目標

- (1) 造形的な能力を働かせるとともに、自らつくりだす喜びを味わい、様々な表し方や見方に触れ、創造的に表現する態度を育てるようにします。
- (2) 材料などの特徴をとらえ、想像力を働かせて主題の表し方を構想するとともに、美しさなどを考え、創造表現の能力、デザインや創造的な工作の能力を高めるようにします。
- (3) 作品などを進んで鑑賞し、そのよさや美しさなどを感じ取り、感性を高めるとともに、それらを大切にするようにします。



☆授業の工夫

- 児童が『ふくらむ夢、心きらきら』と、自分の感性を意識し、自分が感じる美しさやよさをより深めて造形活動する喜びを実感するような授業を心がけていきたいと思います。
- そのために、次のことをしていきたいと思います。
 - ・自分の感性を大切にして造形活動をする能力の育成
 - ・構想をじっくり深めて表現活動をする能力の育成
 - ・表現活動にうちこむ喜びを実感できる能力の育成
- 高学年の図画工作では、造形的な見方や感じ方を深め、自分の思いを大切にして発想や構想を練り、技法、デザインなどを工夫して表現する喜びや鑑賞する喜びを味わわせるとともに、造形的な創造活動への意欲と豊かな表現力や感性を育てたいと思います。

☆年間の学習計画

	育 育 其 月	時 間		時 間	
単 元 ・ 題 材	1 よく見て描こう (クロッキー・絵画)	6	4 わたしの町 (住んでいる町の自分の好きな風景を絵に描こう)	8	7 色を選んで (表し方を工夫して描いてみよう) 「版画」
	2 願いや思いを形や色に 「オリジナルはんこを作ろう」 「ピースキャンドルを作ろう」	9	後 期		8 夢を集めて (卒業の記念になる作品をつくろう)
	3 チャレンジ広場 ☆陶芸をしよう	4	5 心広がる場面 (心に強く残った場面を立体に表そう) 「歴史ワールド」	8	
			6 作品展に行こう	1	

☆評価の観点

【造形への関心・意欲・態度】

自分の思いをもち、造形的な能力を働かせるとともに、自らつくりだすことや美しさなどを感じ取ることなど造形表現活動を積極的に楽しみ、その喜びを味わおうとすることができる。

【発想や構想の能力】

見たことや感じたことなどをもとに想像力を働かせ、主題の表し方など自分らしい表現の構想をしたり、デザインの能力を働かせて、つくりたいものの意図や美しさを考えるなど豊かな構想をしたりすることができる。

【創造的な技能】

表したい意図や周りの様子に関連づけながら、創造的な技能を働かせたり、造形感覚を生かしたりして、表し方を工夫することができる。

【鑑賞の能力】

造形作品などに親しみ、その美しさなどを感じたり、表し方のよさを感じ取ったり、味わったりすることができる。

☆評価の方法

〈表現〉

- ・活動中の態度
- ・活動の内容

〈鑑賞〉

- ・発表
- ・鑑賞カード

などを総合的に評価します。

